

MGU Chapel Letter

—第 44 号 2024 年 12 月 4 日— 発行：大学宗教センター

* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



12 月・1 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 12 月 2 日（月） 松本 周 （一般教育部准教授）
- ・ 12 月 4 日（水） 松井 浩樹 （東北学院中高宗教主任）
- ・ 12 月 6 日（金） 栗原 健 （大学宗教センター長）
- ・ 12 月 9 日（月） 瀬谷 寛 （仙台東一番丁教会牧師）
- ・ 12 月 11 日（水） 近藤 誠 （仙台北教会牧師）

- ・ 1 月 6 日（月） 松本 周 （一般教育部准教授）
- ・ 1 月 8 日（水） 東 義也 （尚絅学院大学教授）
- ・ 1 月 10 日（金） 佐々木哲夫 （学院長・宗教総主事）
- ・ 1 月 15 日（水） 栗原 健 （大学宗教センター長）

上の礼拝とは別に：

大学クリスマス礼拝（12 月 17 日）・全学院クリスマス礼拝（12 月 23 日）
も予定されています。次ページをご覧ください。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：christ-c@mgu.ac.jp

✦ クリスマス礼拝スケジュール ✦

今年も、主イエス・キリストの誕生をご一緒にお祝いしましょう。ぜひクリスマス礼拝にご参加下さい。

☆ 大学・大学院クリスマス礼拝（礼拝堂）

日 時： 12月17日（火）15時～16時
メッセージ： 関川祐一郎（石巻山城町教会牧師）
奏 楽： 小野なおみ先生（オルガニスト）
賛 美： 大学音楽科・大学ハンドベルクワイア



☆ 全学院クリスマス礼拝（礼拝堂）

日 時： 12月23日（月）：16時30分～17時45分
メッセージ： 栗原健先生（大学宗教センター長）
奏 楽： 飯塚由美先生（オルガニスト）
賛 美： 大学音楽科・大学聖歌隊・大学ハンドベルクワイア

✦ クリスマスを祝う音楽会 ✦

12月7日（土）13時～17時に、各種音楽イベントがキャンパス内で開催されます。礼拝堂では、13時から13時20分まで開会礼拝（佐々木哲夫学院長による司式・説教）、15時から16時にかけて「宮城学院クリスマスチャペルコンサート クリスマスの喜び ～クリスマスに贈るクラリネット三重奏の調べ～」、16時30分から17時にかけて「大学聖歌隊によるミニコンサートとエピローグ」が行われます。プログラムは https://www.mgu.ac.jp/event_christmas241209/ からご覧下さい。





「泊まる場所がなかった」

まもなくクリスマスですね。イエス・キリストの誕生を祝う季節です。私たちが思い描くイエス誕生の光景とは、どのようなものでしょうか。通常それは、クリスマスカードの絵に見られるように、馬小屋の中で家畜たちに見守られて眠っている赤子イエス・・・という、メルヘンのようにほのぼのしたものだと思います。けれども、イエスはなぜ、馬小屋のような奇妙な場所で生まれたのでしょうか。

ルカによる福音書2章1～7節によると、イエスの母マリアとその夫ヨセフは、ローマ皇帝がユダヤ人たちに対して、「課税のために人口調査をするから、故郷の町へ帰って登録せよ」と命じたために、遠くベツレヘムまで旅することを強いられます。身重だったマリアはその町でイエスを出産するのですが、「宿屋には彼らの泊まる場所が無かった」（7節）ために、馬小屋にいたのです。おそらく、牛やロバを入れていた薄暗い洞窟なのでしょうが、貧しい旅人には、それしか雨露をしのぐ場所が無かったのです。さして大きな町でもないのに、誰も彼らのことを気にとめてくれる人はいなかったのでしょうか。まさに「居場所がない」状態で、イエスは生まれたのです。

最近、「居場所」ということがよく話題になります。「ありのままの自分でいられる、素の自分を隠さずに出せる場所」という意味ですが、この「居場所」を見つけることに困難をおぼえる人が、少なくありません。SNSなどで絶えず誰かとつながり、大勢の人に囲まれているのに、他人に合わせているだけの様な気がして、さびしく感じる。評価される心配をしなくてもいい場所、空気を読まなくてもいい場所が無い。結局、自分はひとりなんじゃないか…。こうした孤独感は、辛いものがあります。クリスマスのようにぎやかな季節ほど、その寂しさを一層強く感じるかも知れません。

けれども、実はイエス自身が、文字通りの意味で「居場所がない」状態で生まれたのです。このことは、どのような状態にある人にも、「あなたは決してひとりぼっちではない。私はあなたと共にいる。あなたがいる苦しみに、私もいたからだ」と伝えるイエスの思いを示しています。

クリスマスは、この神の愛を知る季節です。ぜひ大学クリスマス礼拝・公開クリスマス礼拝に出席し、聖書の語りかけをゆっくり味わいましょう。（栗原健）

✦ キリスト教講座のお知らせ ✦

今回は英文学科のフェラン先生！！

キリスト教センターでは、大学・中高の教員を招き、キリスト教の歴史や文化についてお話ししていただくキリスト教講座を開催しております。今回の講座には、学芸学部英文学科のティモシー・J・フェラン先生をお招きして、「島原の乱（1637年－38年）：45年後の歴史的考察」との題でお話ししていただきます。天草四郎に率いられた島原のキリシタン農民たちの反乱については、その政治的背景から埋蔵金伝説に至るまで、現在もさまざまな議論が交わされています。先生がどの点に関心をお持ちなのか、詳しくお聞きしたいですね。師走の忙しい時期ですが、ぜひご参加下さい。事前予約は不要です。

日時： 2024年12月13日（金）
16時20分～17時20分

場所： C605教室

問い合わせ先：キリスト教センター



クリスマス献金にご協力下さい

12月23日（月）まで、クリスマス献金をキャンパス内で受け付けております。礼拝堂入口・MG-LACに献金箱が設置してありますので、どうぞご協力下さい。今年の献金は、下記の団体に送られる予定です。

【キリスト教センター分の献金先】（大きい献金袋を使用して捧げられたもの）

堀川愛生園、仙台キリスト教育児院、仙台いのちの電話、仙台YWCA、日本聾話学校、
NPO法人ACE、国連UNHCR、日本基督教団中部教区、社会福祉法人牧人会 など

【大学宗教センター分の献金先】（小さい献金袋を使用して捧げられたもの）

アジア学院、日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）、アジアキリスト教教育基金（ACEF）、
東北ふうどばんく AGAIN、聖霊学園高等学校、NPO法人みんなの居場所 など